

野坂参二 のさかさんじ 社會運動家、政治家。明治二十五年二月二十日山口縣生れ、平成五年十一月十四日歿（八九一—九三三）。筆名山崎國二、阿野、阿野進、林哲、野坂参三、野坂鐵、鐵等。大正六年慶應義塾大学學理財科卒。在學中友愛會に入り、卒業後書記。八年イギリスマル渡り、翌年イギリスマ共産黨に入黨。十一年歸國し日本共産黨結成に参加。翌年及び昭和二年の檢舉。六年モスクワのコミンテルンへ派遣せられ、十年同幹部會員となる。十五年延安へ赴き反戦同盟を組織して二十一年歸國。衆議院議員となり、十五年八職海放。地下活動後二十一年衆議院議員（當選一回）、二十二年黨中央委員會議長、平成四年コミンテルン時代の同志密告くより黨除名。

著書 『最近の海逸研究』（野坂鐵名、合著・表現社編、大正十一年一月十八日、二松堂書店）、『民主戦線のため』（昭和二十一年二月一十八日津藤書店）、『民衆藝術論』（昭和二十二年九月二十日日本民主主義文化連盟）、『闘うヒューマンストーリー近代日本の革命的人間像』（合著・學生書房編集部編、昭和二十二年四月二十五日、再刊）、『二十四年十月二十一日學生書房』（野坂参二の回想）（合著・大學新聞社編、昭和二十二年七月二十日大學新聞社出版部）、『七命十六年』（昭和二十二年九月二十日日本共産黨出版部）、『若い人々光』（合著、昭和二十二年十一月一日大阪・共同圖書出版社）、『新中国の中國と日本』（昭和二十四年十月二十五日眞理社）、『戦略・戦術の諸問題』（昭和二十四年十一月五日永美書房）、『光を掲げたい人々—民主主義者の思想と生涯』（合著、昭和二十一年二月二十日新輿出版社）、『野坂参二のあゆみと生涯』（野坂参二資料編纂委員会編、

昭和二十九年九月十日新日本出版社）、『この五十年きどろりかえり』  
 こ』(昭和四十七年九月)二十二年新日本出版社「新日本新書」(等)。  
 林虎雄論 野坂隆雄著を發く、共産黨秘録ロミンテスン密使小林陽之助  
 の告白』(昭和二十五年八月)二十五年京都・道理社(刊)。

